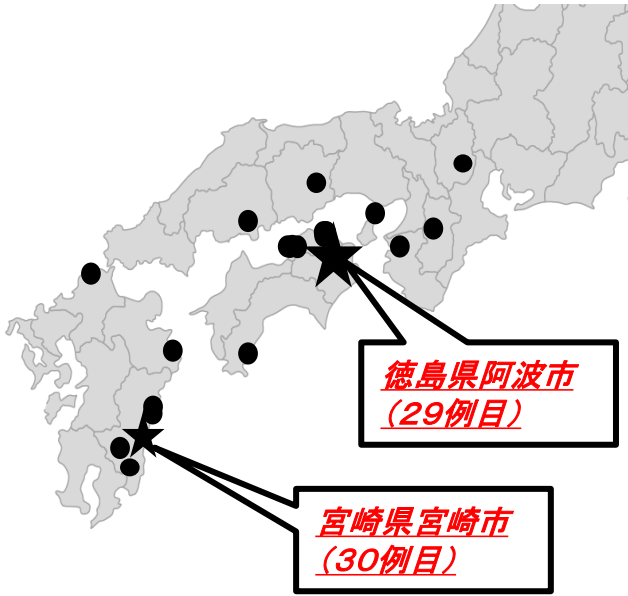


徳島県及び宮崎県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認！（国内29、30例目）

12月19日、徳島県阿波市及び宮崎県宮崎市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内29、30例目の発生となります。引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底をお願いします。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行をお願いします。



★29例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 徳島県阿波市
- ・飼養状況 採卵鶏 約1万羽

【経緯】

- ・12月18日、死亡羽数増加の通報を受け徳島県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・12月19日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

★30例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 宮崎県宮崎市
- ・飼養状況 肉用鶏 約3.4万羽

【経緯】

- ・12月18日、死亡羽数増加の通報を受け宮崎県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・12月19日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- ☑防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- ☑農場に入る車両の徹底消毒
- ☑家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- ☑家きん舎に出入りする時の手指消毒
- ☑家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- ☑踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換

▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！

